

## 付属資料 用語解説

### 【あ行】

- 一日最大給水量（いちにちさいだいきゅうすいりょう）  
年間の一給水量のうち最大のものをいう。
- 一日平均給水量（いちにちへいきんきゅうすいりょう）  
年間の総給水量を年日数で除したものをいう。
- 温室効果ガス（おんしつこうがす）  
温室効果を起こす気体の総称をいう。二酸化炭素・フロンガス・メタンガス・一酸化二窒素などがある。

### 【か行】

- 企業債（きぎょうさい）  
地方公営企業が行う建設、改良等の工事に要する資金に充てるために起こす長期借入金をいう。
- 給水（きゅうすい）  
配水池から送られ、使用者の蛇口から出る水をいう。
- 給水区域（きゅうすいくいき）  
水道事業者が策定した事業計画の目標年次までに需要に応じて給水を行うこととした区域をいう。
- 給水戸数（きゅうすいこすう）  
給水契約の対象となっている戸数をいう。
- 給水人口（きゅうすいじんこう）  
給水区域内に居住し、水道事業から給水を受けている人口をいう。
- 給水装置（きゅうすいそうち）  
需要者に水を供給するために配水管から分岐して設けた給水管及びこれに直結する給水用具をいう。
- 計画給水人口（けいかくきゅうすいじんこう）  
水道事業者が定める事業計画上の給水区域内の人口をいう。
- 計画給水量（けいかくきゅうすいりょう）  
給水区域内の需要に応じて給水するため、水道事業者が定める事業計画上の給水量をいう。
- 原水（げんすい）  
地下水を取水し浄水処理する前の水をいう。

■ 建設副産物（けんせつふくさんぶつ）

建設発生土など建設工事に伴い副次的に得られる物品の総称。具体的には、建設現場に持ち込んで加工した資材の残りや、現場内で発生した物の中で工事中あるいは工事終了後その現場内では使用の見込みがないものをいう。

■ 更生修繕（こうせいしゅうぜん）※井戸の更生修繕

取水量が低下した井戸を機械的・科学的な工法により、取水量を回復させることをいう。

【さ行】

■ 自己資本構成比率（じこしほんこうせいひりつ）

総資本中に占める自己資本の割合を示し、企業体質の強弱と財務の安定を表す。

■ 収益的収入（しゅうえきてきしゅうにゅう）

企業の経営活動に伴って発生する収入で、給水収益や受取利息などがある。

■ 収益的支出（しゅうえきてきししゅつ）

企業の経営活動のための支出で、水道水を製造したり、水道施設を維持管理するのに必要な経費や企業債利息などがある。

■ 集中監視制御設備（しゅうちゅうかんしせいぎよせつび）

水源・配水場などの無人水道施設を監視・制御する設備をいう。

■ 受水槽（じゅすいそう）

高層のため配水管の圧力では給水できない建物やビル・マンション・学校・病院など一時に多量の水を使用する建物などで、水道局から送られてきた水をいったん貯めておく容器のことをいう。

■ 受水費（じゅすいひ）

原水の不足などのため他の事業者から受けている原水や浄水について支払う料金をいう。（当市は大井川広域水道企業団から浄水を受水している。）

■ 浄水（じょうすい）

地下水や表流水などの原水に、飲料用に供するための処理を行い、水道法に適合するようになった水をいう。

■ 水質検査（すいしつけんさ）

浄水について検査を行い、その結果を水質基準ごとの基準値や塩素消毒の基準に照らして適合しているかどうかを判定することをいう。

■ 石綿セメント管（せきめんせめんとかん）

石綿繊維（アスベスト）、セメント、珪砂を水で練り混ぜて製造したもの。アスベストセメント管、石綿管ともよばれる。長所としては、耐食性、対電食性が良好であるほか、軽量で加工性がよい、また価格が安いなどがあげられる。一方、強度面や対衝撃性で劣るなどの短所がある。高度成長期の昭和 30～40 年頃をピークに使用されていたが、その後強度の問題から布設替えが進められ、全国的な需要減により昭和 60 年に製造が中止された。

■ 浅層埋設（せんそうまいせつ）

水道管、ガス管、下水管などの埋設深を従前の深さより浅くすること。規制緩和の一環として国から認められた。

■ 専用水道（せんようすいどう）

寄宿舍、社宅、療養所などにおける自家用の水道で、給水人口が 100 人以上かつ一日最大給水量 20m<sup>3</sup>以上の水道で自己水源を持つものをいう。

■ 送水管（そうすいかん）

浄水場から配水池までに浄水を送るための管をいう。

【た行】

■ 着水井（ちやくすいせい）

原水の水量と水質を測定するため、水源からの原水を一旦貯留する施設をいう。

■ 直結給水（ちよっけつきゆうすい）

需要者の必要とする水量、水圧が確保できる場合に、配水管の圧力を利用して給水する方式をいう。配水管圧力だけで末端まで給水する直結直圧式給水と、配管途中に増圧装置を挿入して圧力を高めて給水する直結増圧式給水がある。

■ テレメータ（てれめーた）

水源や高台施設などの設備を遠隔で操作する装置のことをいう。

■ 導水管（どうすいかん）

水源から浄水場まで原水を送るための管をいう。

【な行】

■ 内部留保資金（ないぶりゆうほしきん）

減価償却費などの現金支出を伴わない支出や収益的収支における利益によって企業会計内に留保される自己資金のことをいう。

■ 鉛製給水管（なまりせいきゆうすいかん）

鉛は、柔軟で加工がしやすいため近代水道創設時から、止水栓、メーター一周りなど主に給水管に使用されてきた。現在はポリエチレン管などを使用している。

## 【は行】

- 配水管（はいすいかん）  
配水のために布設された管をいう。
- 配水管のブロック化（はいすいかんのぶろっくか）  
地震などの災害時に被害が部分的になり、迅速に復旧できるよう、配水管を区画に分けて整備することをいう。
- 配水池（はいすいち）  
給水区域の需要量に応じて適切な配水を行うために、浄水を一時貯える池をいう。
- 深井戸（ふかいど）  
被圧帯水層（地下水で飽和している地層のうち被圧帯に挟まれたもの）から取水する井戸のことで、深さは30m以上のものが多く600m以上のものもある。
- 普及率（ふきゅうりつ）  
給水区域内に居住する人のうち給水を受けている人の割合をいう。
- 伏流水（ふくりゅうすい）  
河床などの形成された砂利層を潜流となって流れる水をいう。

## 【や行】

- 有収率（ゆうしゅうりつ）  
有収水量（料金徴収の対象となった水量）を給水量（配水場から給水した実績水量）で除したものをいう。